

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

達成状況

・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。	
・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。	
・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。	

学校の年度目標

○「人権・平和」の取り組みや学校行事などを通じて、相手を思いやる気持ちの育成を図るとともに、情操が豊かで「いじめ」の起こらない、生徒が「安心して登校できる」学校づくりを目指す。 ○様々な体験活動を取り入れることで学校生活を充実させ、生徒アンケートにおける「学校が楽しい」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を8割以上にする。 ○細やかな状況観察、声掛け、教育相談、家庭訪問などで「いじめ」や「不登校」を未然に防ぐだけでなく、早期発見、改善につなげる。
--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

進捗状況

取組内容①【基本的な方向1 安全安心な教育環境の充実】 「いじめについて考える日」「いじめアンケート」を実施し、いじめの未然防止、早期発見の取り組みの徹底を図る。 (1-1、いじめへの対応) 指標 年2回の教育相談週間の実施と、5月に「いじめについて考える日」を設定し、学期に1回以上「いじめアンケート」を実施する。	B
--	---

取組内容②【基本的な方向1 安全安心な教育環境の充実】

校内の連携を強化し、関係部署と連絡を密にとり、不登校になる生徒の未然防止と、不登校生徒の改善策を図る。 (1-2、不登校への対応) 指標 子どもサポートネットを学期に1回以上行い、不登校の未然防止や早期発見・解決に努める。	B
--	---

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

生活指導関連の外部講師の招聘や各学年での体験活動の充実を図ることに加え、1年生で大阪市内の文化施設を訪ねる「地域探訪」、また2年生で「地域探訪」「大阪城周辺フィールドワーク」と「職場体験学習」を実施し、人権感覚を養う。1・2年合同で一泊移住を実施し集団で生活をする上で、必要なルール・マナーを学ぶ。 (2-3 人権を尊重する教育の推進) 指標 校内アンケート調査において、「外部講師を招いた講義や体験活動が充実していた」と回答する生徒の割合を90%以上にする。	B
---	---

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①教育相談、アンケートを実施して、いじめを未然防止、早期発見し、こまめに対応に当たることができている。 取組内容②関係部署と連携しながら不登校対応をしているが、短期での状況改善には至っていない。今後も粘り強く取り組んでいく。 取組内容③1年生の「地域探訪」は、3学期に実施予定。2年生の「地域探訪」は、1学期に実施済み。2学期に「職場体験学習」、3学期に「大阪城周辺フィールドワーク」を実施予定。1・2年生合同「一泊移住」も1学期に実施済み。概ね、予定通り計画・実施できている。

次年度への改善点

--

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（中学校）

達成状況

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を50%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を80%以上にする。

学校の年度目標

- 確かな学力を育むために指導と評価を一体化させ、生徒の学習状況に応じて評価を指導にフィードバックさせることで、校内調査において「授業が分かりやすい」の項目に肯定的に答える生徒の割合を7割以上にする。
- 校長戦略予算を活用した全生徒対象の英検・漢検・数検を実施し、多くの生徒に達成感を味わわせる。
- 日本語指導の必要な生徒の指導体制を充実させ、日本語能力アップを図り、全体的な学力の底上げにつなげる。
- 運動を苦手とする生徒に基礎体力をつけさせ、全国体力・運動能力調査において、大阪市平均との差を昨年度調査より縮める。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標

取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

進捗状況

特別課題検討委員会(学力向上委員会)において、教務部と連携し、研究授業や相互授業参観、課題に応じた学力向上の取り組みの考察などを推進する。

（ 4-1 言語活動・理数教育の充実 ）

指標

特別課題検討委員会(学力向上委員会)を月に1回以上開催する。

B

取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

校長経営戦略支援予算を利用し、英検、漢検、数検の3検定を校内で実施する。教科指導を向上させ、個に応じた指導を充実させる。

（ 4-3 英語教育の充実 ）

指標

校内アンケート調査で「授業が分かりやすい」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を昨年度以上にする。

B

取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】

日本語指導の充実に向けて、教育環境を整える。

（ 2-5 多文化共生教育の充実 ）

指標

日本語指導の必要な生徒に対し、能力に応じた日本語能力検定試験を実施する。

B

取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】

バランスよく基礎体力と運動能力を高めるためのトレーニングを継続して行う。また体力・運動能力調査を全学年で実施し、全体的な底上げを図っていく。

（ 5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進 ）

指標

体力・運動能力調査で、全国平均、大阪市平均を上回る種目数を昨年度より増やし、体力合計点で全国平均、大阪市平均との差を縮める。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 取組内容①研究授業および相互参観について、計画通りすすめている。
- 取組内容②三検定について、年間計画通り実施予定である。
- 取組内容③12月に予定されている「日本語能力検定」の受験者は17名である。貸し出し用の問題集を購入し、受験に向けた準備を進めている。
- 取組内容④継続して取り組んでいる。調査時よりも体つきの変化が見られ、トレーニングの負荷を徐々に高めることができています。

次年度への改善点

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

達成状況

・デジタル教材を活用した授業を週3回以上実施する。 ・学習者用端末を毎日活用する。 ・ゆとりの日の設定を月に1回設ける。 ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。	
学校の年度目標 ・デジタル教材を活用した授業の校内外の研修に積極的に参加する。 ・学習者用端末を活用する授業等を前年度より増加させる。 ・教員の時間外勤務時間を前年度より減少させる。 ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を前年度より増加させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標

取組内容①【基本的な方向6、教育DXの推進】

進捗状況

教員のICT活用を指導する能力向上を推進する。 （ 6-1 ICTを活用した教育の推進 ） 指標 ICT関連の校内研修会を年3回実施する。	B
--	---

取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

サポーターの人材を充実させ、業務依頼書を活用し、教職員の時間のゆとりを確保する。 （ 7-1 働き方改革の推進 ） 指標 校内アンケート調査で「ゆとりをもって業務ができた」において、肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。	B
--	---

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①ICT教育推進担当を中心に、校内研修を2回実施済み。今後も計画的に実施する予定である。 取組内容②「業務依頼書」については、一部の教職員の活用にとどまっているのが現状である。学びサポーターの人員の充実により、入り込みによる学習支援を今後も継続していく。
--

次年度への改善点

--